

## 学力向上モデル地区事業実績報告書

委員会名 井原市学力向上実行委員会

### 1 課題と期待する成果

#### (1) 課題

平成24年度全国学力・学習状況調査の本市小学校の結果は全国平均をかなり下回っており全国平均との比較では3～6ポイントもの開きがあった。中学校においてもほとんどの項目で、県・全国平均を下回っている状態であった。また、学習状況調査の結果では、小中ともに家庭での学習時間が少ない、小学校は放課後等を活用した補充学習サポートの実施率が低い等多くの課題があった。

#### (2) 改善したい点、目標

この現状を真摯に受け止め、本プロジェクトでは今後3年間で、計画的に生活リズムを向上させるとともに学級集団づくりの取組を通し、結果的に小・中学生の学力を全国平均より上回ることを目標に取り組むこととした。

### 2 3年間の主な取り組み

#### ○いばらっ子生活リズム向上プロジェクトの取組

①早稲田大学 前橋明先生、環太平洋大学 中尾道子先生、元就実大学 宗高弘子先生と連携した、講演会、研修会、などの実施

例：生活リズムに関する講演会

幼稚園・保育士対象の運動遊び講習会

体育の授業づくり研修会

②現状把握のための生活習慣アンケートの実施

③「いばらっ子の実態」について参観日等を利用した説明会の実施

④学校園代表者会の開催、中学校区ごとの生活習慣スタンダードの作成

⑤オリジナルキャラクター、リーフレット、ポスター、のぼり、紙芝居等、啓発資料の作成

#### ○Q-Uを活用した学級集団づくりの取組み

一つ一つの学級が高め合う集団であることが、落ち着いた学習環境につながると捉え、Q-Uを活用した学級づくりについて取り組んだ。

①Q-Uについての研修会

##### (1) 実施回数

H25年度	早稲田大学	教授	河村 茂雄先生	1回
H26年度	高知大学	准教授	鹿嶋 真弓先生	2回
H27年度	高知大学	准教授	鹿嶋 真弓先生	1回

##### (2) 実施内容

- ・Q-Uテストの概要
- ・Q-Uテスト結果の分析方法
- ・グループエンカウンター、ソーシャルスキルトレーニングの手法

②井原市教育委員会指定でQ-Uを活用したよりよい人間関係の構築や教職員のスキル向上についての研究発表会の開催

- ・研究主題：「自他を認め、よりよい信頼関係を築くことができる生徒の育成」

- ・研究指定校：井原市立高屋中学校
- ・開催日時：平成27年1月20日

○放課後サポート事業・地域土曜学習事業の取組

普段の授業では「岡山型学習指導のスタンダード」を大切にしながら授業を行うとともに、家庭学習の時間の確保のために、放課後サポート事業・地域土曜学習事業の充実、拡充を計画的に行った。

	放課後サポート事業実施校	地域土曜学習事業実施校
H25年度	13全小学校	3小学校
H26年度	13全小学校	13全小学校
H27年度	13全小学校、3中学校	13全小学校

### 3 得られた成果

○いばらっ子生活リズム向上プロジェクトについての取組より

- ・生活習慣の重要性を啓発していったことで、教職員の意識が変わり、各校園で生活リズムに向けて自主的な取組が見られるようになった。研修会を通じて保幼小中の縦のつながりもでき、中学校単位での生活習慣のスタンダードが作成された。
- ・生活リズムのアンケート調査（H25年度とH26年度の比較）では、幼児、児童、生徒のそれぞれの就寝時刻、睡眠時間の目標到達ポイントがH26年度には、就寝時刻が13.7ポイント、睡眠時間が15.2ポイントUPした。

○Q-Uを活用した学級集団づくりの取組より

高屋中学校との研究の成果

- ・グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングを効果的に活用したことで生徒の学級満足群がH25年6月には46%だったものがH26年10月には64%になった。また、友人、教師との関係、学習意欲、進路意識など学校生活意欲得点においても増加傾向が見られ、よりよい人間関係の構築が学習活動にも好影響を及ぼし、学び合う学習集団づくりにつながっているということが明らかになった。H27年度の学力調査にもその結果が表れている。
- ・校内での生徒の雰囲気は柔らかくなった。学校行事には活発に取り組み、その後の感想には友達や教職員への感謝の内容が盛り込まれるなど、生徒の変容が見られた。また、生徒の問題行動や新たな不登校は明らかに減少した。

○小学校の学力調査の結果より

- ・24年度での県・全国平均との比較ではすべての項目において全国平均を下回っていたが、27年度での比較では、県平均については3項目、全国平均については1項目において上回る結果となった。また、24年度には全国と3～6ポイントあった差が、27年度には0.1～2.8ポイントの差にせまることができた。

#### 4 残された課題とその解決への展望 ・ その他

- ・学力調査において3年間で全国平均を上回るという目標は、小学校についてはおおむね達成できたが、中学校においては十分な達成ができていない。しかし、学び合う学級集団づくりにおいては成果が出始めているところである。学び合う学級集団づくりについては市内すべての学校に、その取組を広めていき、学力向上につなげていきたい。また中中連携、小中連携、保幼小連携な新たな取組にも力を入れて取り組んでいくが、その連携の中で効果的な取組を広めたり、新たな視点をもったりすることで、次のステージへの取組も進めていきたい。
- ・生活習慣の改善の取組については、3年間の成果をいかし、今後も引き続き継続して取り組んでいきたい。

(執筆者：上原かな子 )

#### <問い合わせ・連絡先>

〒715-8601 岡山県井原市井原町 311 番地 1

井原市教育委員会 学校教育課

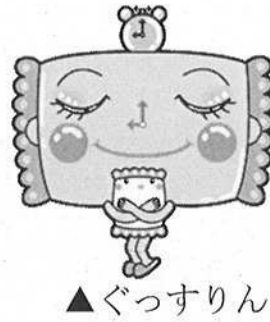
TEL 0866-62-9532 FAX 0866-62-0332

E-mail gkyoiku@city.ibara.okayama.jp

## 5 資料

### いばらっこ生活リズム向上プロジェクトの取組

#### ①オリジナルキャラクターの作成



#### ②生活リズムに関する講演会

早稲田大学 前橋 明 先生



#### ③親子体操の実施



#### ④学校園代表者会



⑤パンフレット作成

Q-Uを活用した学級集団づくりの取組より



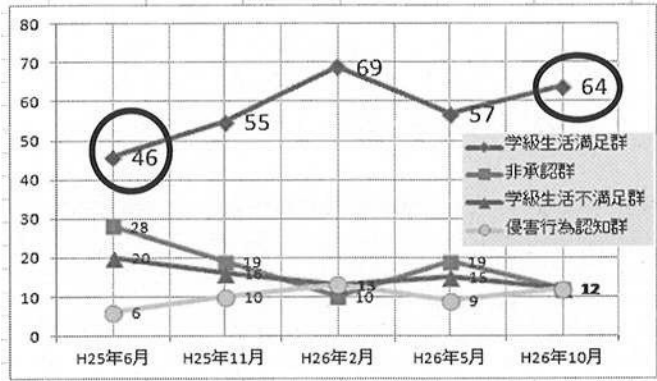
鹿嶋先生をお招きしての校内研修会



公開授業

高屋中の研究成果より

学級満足度の推移

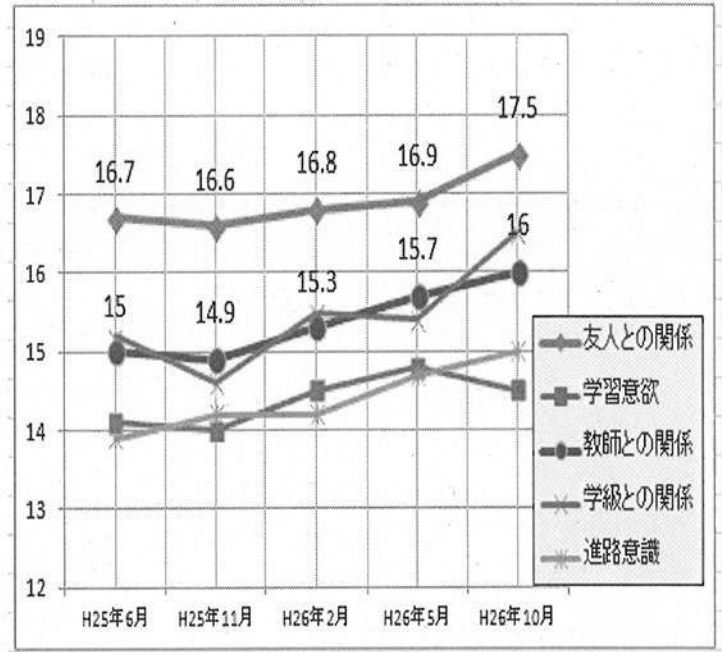


46%



64%へ

学校生活意欲得点の推移



ほとんどの項目において増加傾向が見られた。